

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	『無断外出・行方不明者搜索手順』を作成しているが、職員間で内容が理解されているか、叱咤の際に的確な動作ができる内容になっているか疑問である。現状に合っているかの確認や見直しができているか。	『無断外出・行方不明者搜索手順』内容の再確認と、現状に合ったものに改善し、より内容を具体化していく。	全職員に周知できるよう勉強会で『無断外出・行方不明者搜索手順』の読み合わせをして、叱咤の場合であっても、初動動作ができるようにする。内容の確認→見直し→改正を行う。	3か月
2	35	火災想定(夜間、日中)の避難訓練や地震想定(年1回)等、毎月、防災訓練を実施しているが、土砂、水害時の対応について確立できていない。『土砂、水害等災害時の対応マニュアル』は案として作成しているが、職員間で申し合わせができているか。起こり得る土砂、水害時に、利用者を安全に避難誘導できるか心配がある。	火災想定(夜間、日中)、地震想定に追加して、土砂、水害時の防災訓練も計画的に実施し、迅速に避難誘導ができるようになる。『(案)土砂、水害等災害時の対応マニュアル』を完成させ、全職員が土砂、水害の防災意識を深める。	次年度の防災訓練は、火災想定(夜間、日中)、地震想定に追加して、土砂、水害時の防災訓練も計画的に実施し、いずれの災害が生じて、迅速に安全な避難誘導ができるようにする。『(案)土砂、水害等災害時の対応マニュアル』を職員間で読み合わせをし、完成させ、全職員が防災意識を深め、周知徹底できるようにする。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。